### 学校名 逗子市立久木中学校

## 調査結果の概要及び教科の課題等(○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等)

	平均正答数は全国平均、県平均をやや上回る結果であった。
	どの問題でも、全国平均、県平均をやや上回る結果であったが、封筒の宛名を書く問題
結果の概要	で完答できる生徒数が唯一平均を下回る結果となっていた。
	○正答率は全国平均、県平均をやや上回る結果となった。また、無回答率は全国、県平均
	ともに下回る結果であった。
話すこと	
聞くこと	●3二の記述問題では、全国、県平均よりも無回答率がやや上回っていたが、正答率は全
	国平均とほぼ一緒であった。また、条件が一部足りない正答に近い答えを書けた生徒は全
	国、県平均より上回っていた。精度をあげての回答力に課題があった。
	○正答率は全国平均、県平均をやや上回る結果となった。また、無回答率は全国、県平均
	ともに下回る結果であった。日頃から 200 字作文を取り入れ、書くことに対する抵抗感
書くこと	が少なくなっていることがこの結果から分かった。
	●数名の無回答の生徒に対するアプローチを検討する必要がある。
	○正答率は全国、県をやや上回る正答率であった。どの問題でも読み取る力を発揮できた
	ことが分かる。
読むこと	
	●1三の記述問題で全国、県平均よりやや上回る無回答率であった。しかし、正答率は全
	国、県平均よりも高い。あきらめてしまう生徒に対する手立てを実施していきたい。
	○4の問題記号選択問題の場合は、無回答率が0で、正答率も高かった。
伝統的な言語文	問題文も選択肢も読んだ上で正しく理解している生徒が多いことが分かった。
化と国語の特質	
に関する事項	●1四の問題に関して、完答率が全国、県平均ともに下回る結果となり、また無回答率は
	全国、県平均を上回る結果となっていた。封筒の宛名書きという実生活で使う場面の多い
	問いに対して課題を発見することができた。実生活につなげた授業づくりを行っていく。
生徒質問紙	「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」という
国語に関する質問	間に対する回答が全国、県平均ともに下回る結果となった。社会との関わり、国語を学ぶし
問43	意義について示しつつ、生徒とともに考えながら授業づくりにつなげていく。

学校名 逗子市立久木中学校

## 調査結果の概要及び教科の課題等(○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等)

	○学校全体の平均正答率は、神奈川県・全国よりも上回る結果となった。ほとんどの区分
	で正答率が上がり、良い結果になった。その背景としては、生徒質問項目にもあるよう
結果の概要	に、普段の授業での改善が良かったと感じる。授業中に友達との考え方を深める工夫や、
	自らの考えを他者に伝えることが、定着へとつながっているのだと感じる。
	●観点別にみると、今回は数学的な技能が県平均よりも高いが、全国と比べると下回って
	しまった。その背景としては、県・国と比べると無回答の割合が「連立二元一次方程式
	を解く」「反比例の表から式を求める」が大きな差が出た。その原因は、解き方を忘れて
	しまった生徒や、わかっていないのに先に進んでしまったことが考えられる。今まで以
	上に個に応じた指導が必要である。
数と式	○基本的な問題に対して、県・国よりも正答率が高い。四則計算は、何度も繰り返し行っ
	ていることで定着ができているようだ。
	●少し複雑になった問題や、二年次の学習で終わってしまって繰り返し行えていない問題
	に対しては、課題が見られた。その中でも、途中で考えをやめてしまう生徒もいて、無
	回答率も伸びてしまったと考えられる。
図形	○授業中は苦手だと感じている生徒が多い区分であったが、全体的に良い結果につながっ
	ている。ただ学びを受けるだけでなく、自らの考えを他者に伝えることが多くなった結
	果であると考える。特に説明をすることに関しては、よく伸びていると感じる。
関 数	○この区分でも、県・国よりも高い正答率になった。
	●この区分で無回答率が非常に高くなってしまった。理解の差が大きいということがこの
	結果からわかる。各学年でしっかりと学習を深め、理解をさせて次に進んでいけるよう
	に心がけたい。
資料の活用	○県・国との正答率がこの区分でも高くなった。その中でも、ヒストグラムの読み取りは
	良くできていると感じる。数学以外の教科でもグラフの読み取りなどの学習で教科を横
	断的に考えられている成果である。
	●知識のところが理解できていない生徒の正答率が伸び悩んでいるように感じる。言葉の
	意味がわかっていれば、解ける生徒が増えるのだと思う。正しい知識を与えて、考え方
	などにつなげていきたい。
生徒質問紙	○数学の学習が好きで、その勉強は大切だと考えている生徒が過半数を占めた。授業の内
数学に関する質問	容についても良く理解している生徒が多い結果となった。
問 49~53	● 極楽中)はよう。マンマュー (古歌) > 日日日子 (4カノー・シューン・ムノム・マー・ユンル/ナンタン
	●授業中はわかっていても、実際に問題を解くときにわからなくなってしまう生徒が多い
	ように感じる。仲間同士でしっかりと理解をして、更に他者に伝えていけるように日々
	の授業を更に改善していきたい。

# 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果分析(中学英語)

学校名 逗子市立 久木中学校

# 調査結果の概要及び教科の課題等(○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等)

两五相/K > 网	WHO WE A COM COUNTY ON THE CONTROL OF THE CONTROL
	○ 平均正答率は県平均や全国平均より高く、正答の生徒は平均を大きく上回る割合であ
結果の概要	る。英語の基礎基本が定着している生徒が多いといえる結果なのではないか。
	●正答率の低い生徒は全国や県平均と同じ割合でいる。このことから、英語に苦手意識を
	もっている生徒への個別の支援が必要である。
	○ ほとんどの問いで良い正答率である。特に英文を聞いて絵を選択する問題では高い正答
	率であった。
聞くこと	●聞き取り把握した内容について、適切に応じる問題では、低い状況であった。また同じ
	問題では、無回答の生徒もいてあきらめてしまう生徒が多かったようである。授業で聞
	き取った内容を踏まえて、自分の考えや意見を表現させる活動を取り入れるなど、改善
	が必要である。
	○全ての問題で、全国や県平均より高い正答率であった。特に短答式の問題、例えば交通
	手段に関する表現を理解し、適切に応答する能力等が身についている生徒が多かった。
話すこと(参考値)	●与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話す問題や、即興でや
	りとりをする問題は正答率が低かった。これからの授業では単に自分のやりたいこと等
	を整理して伝えたり、情報を加えて話続けたりするような場を設定し支援したい。また
	やり取りをする機会を増やすことを授業で継続的に続けたい。
	○ほとんどの問いで全国や県平均よりも高い正答率であった。特に選択式の問題では正答
	率が高かった。与えられた英文から情報を正しく読み取る力が身についていると言える。
読むこと	●説明文とその前後にある対話から、書き手が最も伝えたい内容を選ぶ問題では、県平均
	より低い正答率であった。また、英文を読んでその内容を踏まえ自分の意見を書く問い
	でも、正答率が低かった。継続的にまとまった長さの英文を読むこと、読んだ内容に対
	して自分の考えをまとめ伝え合う活動を取り入れるなど改善が必要である。
	○短答式や選択式で、知識に関する問題では高い正答率を示した。語や文法事項等を理解
	して正しい短い文を書く力は定着している生徒が多いと言える。
書くこと	●与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある文を書く問題では正答率が低
	かった。授業で、まとまりのある文章を書く活動を取り入れるなどの改善が必要である。
生徒質問紙	○多くの生徒が、英語の授業がよく分かると答えている。
英語に関する質問	●即興で、自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動が行われていたかの質問に、「あてはま
問 54~66	らない」と答えた生徒が、他の質問項目と比べると多かった。授業で継続的にこのよう
	な活動を取り入れることが必要である。

# 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果分析(生徒質問紙)

学校名 逗子市立久木中学校

### 特徴的なことや課題と考えられること等

県、全国と対比して、以下の項目が有意的な差があると思われる。

国語について、(40)、(41)から、国語の学習に対して、意欲が弱いことがわかる。これは、(21)の読書が好きではない比率も高いことにも現れている。

数学について、(49)、(53)から、意欲が高く、粘り強く取り組もうとする姿勢が身についていることがわかる。これは、数学の授業において「学び合い・教え合い」の展開を意識的に工夫し取り組んでおり、その成果が現れているのではないか。このことは、(32)からも、「学び合い・教え合い」の授業が浸透してきて、生徒自身もこれにより、自分の考えを深めたり、広げたいと思っていることがわかる。

英語について、(25)、(26)について、外国の人や外国のことに関心が高いこと、(58)から、日常的に英語を使う機会が多いこと、(59)から、将来、英語を使う職業に興味が高いこと、(63)から、授業で英語で発表する機会や考えや気持ちなどを書く活動が多かったこと、がわかる。これは、英語の授業において、より実践的な活動を多く体験していることや、逗子という地域から外国人や外国の文化に振れる機会が多く、英語に対する関心や外国のことに対して興味が増していることが現れている。

ICT などの視聴覚教材について、(30)から、逗子市は全教室にプロジェクタを導入し、これを使用している授業・教員が多く、生徒もそう受け取っていることがわかる。また、(31)から、さらに生徒自身でもさらに活用してみたいと思っている。これは、技術の授業、総合的な学習の時間などにおいて、PC を積極的に使用している効果だと思われる。

様々な教科内授業や総合的な学習の時間、行事に対する取り組み、学級活動、等に関わって、(34)から、課題を立てて情報を集め、調べたことを発表する学習活動の流れが身についていること、(35)から、学級活動において、話し合う態度、意見を交わし、解決していく方策が身についていること、(38)から、発表の場で、資料や文章、話の組み立てなどを工夫しようとしていることがわかる。

学校の規則について、(13)から、学校の規則を守ろうとする規範意識が少し弱いように思われる。また、部活動について、(27)、(28)から、運動部、文化部のどちらにも参加していない生徒の比率が高いことがわかる。本校は、校内の部活動以外で習い事やスポーツのクラブチームに所属している生徒も少なくなく、それが部活動に所属していない数として現れている。

学校生活全般について、(7)から、授業などにおいて教員が分かるまで教えていると感じ、(12)から、「学校に行くのは楽しい」と思っている生徒が多く、生徒が学校に通いたくなるような環境を整えることができているといってよいのではないか。また、(24)から、地域や社会について、よりよくしようとしている意識が高く、前向きな態度が養われている。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果を受けての学校としての取組

学校名 逗子市立久木中学校

### 調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて学校として取り組むこと

国語について、国語の授業内やそれ以外において、生徒の意識・意欲が高まるようなことを検討・実践していきたい。既に、短歌や俳句を教材に日本の文化により深く触れ合う機会を授業内でつくり、現在も「朝読書」を朝学活内で実践しているが、読書指導や図書館教育と連携した取り組み等を、さらに取り組んでいきたい。

数学について、意欲が高く、粘り強く取り組もうとする姿勢が身についていることがわかる。これは、数学の授業において「学び合い・教え合い」の展開を意識的に工夫し取り組んでおり、その成果が現れているのではないか。また、生徒自身もこれにより、自分の考えを深め、広げていきたいと思っていることがわかる。現在も少人数授業を実践しているが、「学び合い・教え合い」を通して個々の力を伸ばしていきたい。

英語について、外国の人や外国のことに関心が高いこと、日常的に英語を使う機会が多いこと、将来、英語を使う職業に興味が高いこと、英語で発表する機会や考えや気持ちなどを書く活動が多かったことがわかる。より実践的な活動を多く体験していることや、逗子という地域から外国人や外国の文化に振れる機会が多く、英語に対する関心や外国のことに対して興味が増していることが現れている。英語も少人数授業・TT授業・IETの授業など、さらに実践的な活動を取り入れていきたい。

また、教科外の活動においても、課題を立て、学習活動を深め、「学び合い・教え合い」を実践し、興味や 関心を深めることができている。今後も、今まで実践できていることは継続し、さらなる取り組みや挑戦を検 討・実践していきたい。

学校の規則について、遵守しようとする規範意識が少し弱い傾向が見られるので、校内の生徒指導・生徒支援と連携し生徒理解を深め、日常の学校生活の中でまたは授業時間で教科と連携した指導を検討していく必要がある。

今年度、新学習指導要領の実施に向け、「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業を実施することができるよう校内研究をすすめている。【主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業研究】を研究のテーマに設定し、『見通しを持たせる授業法の工夫』をサブテーマに取り組んでいる。授業の中で「めあて」を明示し、授業の流れを視覚化する。「学びのプラン」を作成する。さらに生徒アンケートを実施し今後の授業に生かして行くことが出来るよう教職員も研鑽を積み、学校教育目標の達成に向け邁進していきたい。